

# 山口県高P連 会報

平成30年11月7日発行

# 18号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会  
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F  
TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785  
http://ymg-kpren.jp/ E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

## 「あいさつ」

山口県公立高等学校PTA連合会

会長 板谷 正



秋冷の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より山口県公立高等学校PTA連合会の活動に、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また昨年度は、第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 山口大会の開催におきまして、会員の皆様のご協力により盛会に実施できましたことを改めて心から感謝申し上げます。

さて、昨年度の本会報紙におきましてご挨拶させていただきました通り、本来でありましたら昨年度いっばいで本会長職を退任する予定でありましたが、中国・四国地区高等学校PTA連合会内の諸般の事情から、本年度も引き続き本会の会長を務めさせていただきますことになりましたことをご報告いたしますとともに、本年度もよろしくお願い申し上げます。

本年は明治改元150年という節目の年を迎えております。山口県は維新胎動の地であり、封建社会から近代国家へと大きな歩みを進めた、志士たちの熱い思いが脈々と流れている地であります。

150年前、我が国の方向性が大きく変わったのが明治維新ですが、私たちが暮らす現代におきましても社会構造は目まぐるしく、加速度的に変化しております。

最近よく「Society 5.0」という言葉を耳にするのがあると思えます。「Society」とは何か。直訳すれば「社会」となりますが、その後に5.0という数字が

付いているところがよく理解ができないのではないのでしょうか。

簡単に説明しますと「Society 1.0」が狩猟社会、「Society 2.0」が農耕社会、「Society 3.0」が工業社会、「Society 4.0」が情報社会、「Society 4.0」が現実の社会と「つ」というのになりませんが、「Society 5.0」とはサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を、AI（人工知能）等を用い高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新たな超スマート社会として、我が国の目指すべき未来社会の姿として提唱されております。

我が国を含め世界を取り巻く環境は大きな変革期にあると言えます。これまでの社会では、経済や組織といったシステムが優先され、個々の能力などに応じている面がありましたが、「Society 5.0」ではビッグデータを踏まえたAIやロボットが今まで人間が行ってきた作業や調整を代行・支援するため、日々の煩雑で不得手な作業から解放され、快適で質の高い生活が送れる社会にはなりません。反面で決してAIやロボットに支配され、監視される未来であってはならないのです。

「Society 5.0」において子供達には、「文章や情報を正確に読み解き、思考・吟味し活用するチカラ」、「価値を見つけて生み出す感性とチカラ」や「好奇心」、「探究心」が求められ、新たな社会を牽引するためには、「技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材」、「技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材」、「様々な分野においてAIやデータの「チカラ」を最大限活用し展開できる人材」が必要となります。こうした場合、文部科学省も「公正に個別最適化された学び」を

現する多様な学習機会と場の提供や、基礎的読解力、数学的思考力などの基礎的な学力や情報活用能力をすすめての児童生徒が習得、文理分団からの脱却等、様々なリーディングプロジェクトを勧められております。その中の一つに、地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成として、高校と地元市町村・高等教育機関・企業・医療介護施設・農林水産業等のコンソーシアムを構築し、探究的な学び等を通じ、地域関する産業や文化等に関する特色ある科目（観光学）を必ず履修させるなど、生徒が「やりたいこと」を見つけられる教育機関への転換も掲げられております。

これからの社会を、チカラ強く生き抜いていかなければならない子供達の未来は、私たちが生まれ育ってきた環境からは予測もつかない領域へと社会全体が大きく変化していくことでしょう。そんな混沌とした時代であるがこそ、学校と家庭が一体となり確かなチカラをつけた子供達を社会に送り出していく必要があると考えます。

本年も子供達の未来へ繋がる活動を目的とし、会長としての職を全力で努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 【お知らせ】

#### 【講演会・情報交換会のお知らせ】

※講演会を開催します  
講師 岩崎由純 氏（山口県出身）  
～元氣・活氣・勇氣を与えるトーク術「ペップトーク」～  
日時：平成31年2月8日（日）  
16時～17時30分 講演会  
18時30分～ 情報交換会（教育懇談会）  
会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

#### 平成31年度 山口県公立高等学校PTA連合会 総会

日時：平成31年6月7日（金）13時～  
会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

#### 平成31年度 第61回中国・四国地区高P連大会 鳥取大会

日時：平成31年7月12日（金）  
会場：とりぎん文化会館（鳥取市）

#### 平成31年度 第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会

日時：平成31年8月22日（木）23日（金）  
会場：ロームシアター京都、みやこめっせ（京都市）



# 第71回山口県高P連総会

6月1日(金) ホテルかめ福で開催されました。

平成29年度に開催した第59回中国・四国地区高P連大会山口大会に係る決算について承認されました。

研究協議として「家庭教育とPTA」というテーマで萩高校PTA 小寄由紀前会長が発表されました。この内容は8月開催の全国大会佐賀大会においても発表されることとなります。また、「コミュニティ・スクールの取組について」というテーマで、西京高校PTA 白木美和元会長が発表されました。

平成32年度までに全ての県立高校でコミュニティ・スクールを導入することとなり、たいへん有意義な研修となりました。

なお、総会では次の議案が可決承認されました。

- 平成29年度事業報告並びに収支決算
  - 平成29年度見舞金収支決算
  - 平成29年度研究討議基金収支決算
  - 第59回中国・四国地区高P連大会山口大会決算報告
  - 平成30年度役員改選
  - 平成30年度公立高等学校PTA連合会会則の一部改正
  - 平成30年度事業計画並びに収支予算案
  - 平成30年度見舞金収支予算案
  - 平成30年度研究討議基金収支予算案
  - 平成30年度山口県PTA指導者研修会について
- 総会では次の皆様が教育長表彰・会長表彰を受賞されました。(敬称略)
- 米井 加代子(新南陽)  
竹屋 宏志(西京)



- 会長表彰受賞者
- 伊藤 郁夫 (山口農業)
  - 若月 栄行 (宇部西)
  - 三嶋 幸男 (長府)
  - 永田 聡 (下関西)
  - 藤岡 洋子 (下関南)
  - 森岡 智之 (豊北・下関北)
  - 吉岡 光雄 (大津緑洋)
  - 大平 憲二 (萩商工)
  - 石本 崇 (岩国)
  - 三上 智司 (岩国・坂上)
  - 神田 健治 (岩国・広瀬)
  - 八木 敦浩 (岩国総合)
  - 山崎 幸司 (岩国工業)

## 山口県高P連組織の概要

**【名称】** 山口県公立高等学校PTA連合会

**【構成】** 山口県内の公立高等学校PTAをもって組織  
全日制-県立50校、市立1校、分校7校の計58校  
定時制-県立13校、市立1校の計14校

**【目的】** 各単位PTA相互の連絡提携を図り、相協力して高等学校PTAの発展と教育の振興を図る。

**【主な事業】**

- 1 各単位PTA間の連絡提携(委員会、総会、地区別研究・連絡協議会等)
- 2 高校教育の振興に関する調査研究(全高P連と連携～アンケート調査等)
- 3 文教政策への建議と意見の公表(全国、中・四国大会での協議、要望書等)
- 4 教育、行政機関・教育諸団体との連携(諸大会参加、事業への協力・後援等)
- 5 見舞金事業

**【機関】** 総会(年1回、6月開催) 常任委員会(年5回、5・7・9・2・5月)

**【役員】** 平成30年度

顧問 寺本 隆宏 (前県PTA連合会会長) 留任  
 会長 板谷 正 (下関商業高校PTA顧問) 留任  
 副会長 河村 聡子 (徳山商工高校PTA会長) 留任  
 見聞 長見 敦宏 (宇部西高校PTA会長) 新任  
 長岡 敏信 (長府高校PTA会長) 新任  
 阿武 慎治 (山口中央高校校長) 留任  
 監事 鳥枝 正 (田布施農工高校PTA会長) 新任  
 小林 孝光 (防府西高校PTA会長) 新任  
 幹事 吉地 宏明 (山口高校教頭)  
 内田 松典 (山口中央高校事務長)

常任委員

岩国地区PTA会長	杉 繁美 (岩国総合)
校長	河 口 郁史 (岩国南)
柳井地区PTA会長	銭 廣義 (熊毛)
校長	椎 原 伸彦 (柳井)
周南地区PTA会長	瀬 来 輝夫 (新南陽)
PTA会長	廣 谷 嘉孝 (徳山)
校長	須 藤 恒史 (徳山)
山防地区PTA会長	岩 崎 真治 (防府商工)
校長	河 村 隆 (防府)
長南地区PTA会長	金 沖 真代 (宇部中央)
PTA会長	田 中 幸夫 (厚狭)
校長	古 谷 修一 (宇部)
下関地区PTA会長	佐々木 義徳 (下関商業)
PTA会長	林 山 幸二 (西関)
校長	根 尾 修 (萩)
長北地区PTA会長	長 尾 志郎 (萩)
校長	河 村 志正 (山口)
公立高等学校長会会長	栗 林 本和 (山口)
会長所属校長	藤 村 茂 (下関商業)
公立高等学校事務長部会長	中 村 修 (山口農業)

**【事務局】** 山口市大手町2番18号 山口県教育会館2F  
 (TEL: 083-923-4761, FAX: 083-923-4785)  
 事務局長 山本 貴司 事務職員 清水 典子

- 石本 崇 (岩国)
- 三上 智司 (岩国・坂上)
- 神田 健治 (岩国・広瀬)
- 八木 敦浩 (岩国総合)
- 山崎 幸司 (岩国工業)

- 村田 知香 (山口・徳佐)
- 山下 由起子 (山口・定時制)
- 伊崎 真也 (防府商工)
- 加賀 真也 (防府商工)
- 三上 さほり (防府・佐波)
- 田村 裕之 (防府)
- 石光 美代子 (徳山・鹿野)
- 岩本 英樹 (徳山)
- 古賀 靖之 (下松工業・定時制)
- 松本 豊治 (下松工業)
- 森本 太郎 (華陵)
- 廣石 順丈 (下松)
- 藤井 玲子 (熊毛北)
- 河井 眞也 (光丘)
- 水本 茂則 (光)
- 立本 達夫 (熊毛南)
- 中本 真由美 (高森)

三浦 博司 (山口中央)  
 藤本 秀夫 (宇部商業)  
 大田 宏 (小野田)  
 久保田 満 (小野田工業)  
 岸本 政信 (豊浦)  
 岡崎 覚 (下関中央工業)  
 岡山 裕治 (下関工業・下関工科)  
 百田 マミ (下関工業・下関工科)  
 中川 利文 (響)  
 小寄 由紀 (萩)

受賞されました皆様、大変お疲れ様でした。

なお、総会後の会長会議、これに続く教育懇談会では昨年同様多くの会員の皆さまに出席をいただき会員同士親しく意見交換・情報交換ができたことを深く感謝いたします。



# 第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会報告

県高P連副会長(長府高校会長)

長岡敏信

第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会が、平成30年8月20日、21日の2日間、佐賀県佐賀市にある佐賀県総合体育館大競技場をメイン会場に、全国から9234名の参加者を迎え開催されました。なお、山口県からは125名の参加がありました。

本大会は、メイン会場のほか、4つの分科会会場、に分かれて開催されました。佐賀市文化会館、唐津市文化体育館、鳥栖市民文化会館、嬉野市体育館と、まさにオール佐賀での全国高P連関係者の受入をしていただきました。

我々は、宿泊先の福岡市内から、バスに乗り、第4分科会会場である嬉野会場へ向かいました。途中の大宰府インターでは合流するバスの団体名が、栃木県高P連、高知県高P連など・・・大会の規模の大きさを出発地点から感じました。

嬉野会場へ到着すると、暑い日差しの中、鹿島高等学校PTAを中心とした開催スタッフの優しく心温まるあいさつに迎えられて会場入りいたしました。

今大会のテーマは「広めよう高めよ

う慈しむ心」～私たちがつくる希望の明日を～でした。

幕末から明治時代を背景に政治・産業・科学・芸術の分野で先進的な活動を展開した佐野常民は、1877年西南戦争に際し、敵味方の区別なく負傷者を救護する博愛者を設立、その後日本赤十字社と改称し現在に至っています。

そこには、どんなに科学技術や産業が発展、進歩しても博愛の精神がなければ真の先進国に成り得ないという、常民の確固たる思いが込められています。

開会式では、西岡佐賀大会実行委員長も、幕末維新期に活躍した佐賀の偉人の1人である、前述の佐野常民伯爵の精神に触れ、その精神は、生命を大切にする心や他人を思いやる心の育成や規範意識などの道徳性を身に付けることにも繋がり、混迷の時代を生き抜く子どもたちが、学校・家庭・地域・社会において慈しむ心を忘れず、私たちPTAがその支えとなり、希望の明日をつくっていくための大いなる一歩を踏み出す大会にしたいと、ご挨拶されました。

表彰式では、山口高等学校が優良PTA文部科学大臣表彰を、厚狭高校顧問八橋さん、豊北・下関北高校顧問森岡さんが全国大会会長個人表彰を、山口農業高等学校PTA、豊北・下関北高等学校PTAが全国大会会長団体表彰を受賞されました。また西京高等学

校元会長白木さんと山口高等学校前会長長原さんが今年度のPTA活動振興功労者表彰を受賞されました。開会式直後の基調講演では、ラジオDJレモンさん(山本シユウさん)の「レモンさんのビタミントーク!～慈しみの愛言葉! We are シンセキ!～」





の講演がありました。

講演は独特な切り口でコミュニケーションの形を唱え、レモンさんの合言葉「We Are シンセキー」その思いはズバリ！「あなたの命は、あなただけのものじゃない！」ということ！遠慮なく「助けて〜！」と叫んでいい「権利」、それが「人権」！あなたは、あなたのまま「で〜いい！以上に、あなたのまま」が「いい！と言える時代なんです！と熱弁を振るわれていました。



### 活動

さらに、本当のコミュニケーションの形についても、わかりやすくかみ砕いて、笑いを大いに盛り込みながら説明してくださりました。

午後からは、4つの会場に分かれての分科会です。「学校教育とPTTA」地域の将来を担う人材の育成とPTTA活動、「進路指導とPTTA」学校と保護者が協働するキャリア教育、「生徒指導とPTTA」主体的に考え行動する生徒の育成、「家庭教育とPTTA」情報社会で問い直される家庭教育とPTTA活動など、それぞれのテーマにて事例発表が行われ熱く議論が交わされました。

私は、第4分科会会場へ参加しましたが、そこでは4校の発表がありました。「岩手県立大船渡高等学校」「埼玉県立白楊高等学校」のアンケート調査を通じ、学校と保護者の交流を深めると共に親子の絆を紡ぐ活動に努めている取り組み、「新潟県立海洋高等学校」



助言者の佐賀大学大学院教授岡陽子氏からは、熟議の取り組みとして子供の目線でみる《子育ては親育て》これに尽きるとの講評がありました。

1日目を終え、我々、山口県隊は福岡市へ戻り、教育懇談会が行われました。

教育懇談会には、93名と、過去最多の山口県高P連関係者が参加し、分科会の会場とは違った熱のこもった熱い議論が交わされました。

私も、このような場は初めて参加し、最初はハードルが高かったものの、各校の会長副会長のみならず、役員の皆様も大勢参加されており、学校、地域の垣根を超えた自由闊達な意見交換を通じて、情報や意識の共有を図ることができました。皆様も、ぜひこういった機会をご利用いただければ幸いです。

大会2日目は、各分科会で記念講演が行われました。

第4分科会では、俳優の片岡鶴太郎さんの講演でした。

ご存知のように、鶴太郎さんは「俳優」「お笑い芸人」「プロボクサー」「画家」「ヨギー」と5つの顔を持ち、63歳を越えた今、毎日が楽しくて仕方がない！と語られていました。



「毎日、午前1時に起床し、4時間のヨーガと2時間の朝食タイム・・・奇人変人に見えるかも知れませんが、なぜ自分がこうしているかと申しますと、とにかく楽しいから」と、そんなストイックな鶴太郎さんの講演題目は気の向くまま、「流れのままに」でした。

好きな事を心行くまで楽しみすぎてその道のプロフェッショナルにまでなってしまう。私たちの生活を今より少しだけ楽しくする鶴太郎流エッセンスをたっぷり吸収することができました。

IT、IOT、ICT、AIといった情報化社会において、昭和から平成、そして次の時代へと変化していく中で、明治維新150年、幕末の偉人たちの志を継承しつつ、新しい世界に向けて子供たちと一緒に向き合いながら前を進んで行くことを決意した2日間でした。

とても有意義だった2日間、参加された皆様、本当にお疲れ様でした。この大会で得た

様々な情報や感動を共有し、今後の山口県高P連活動に活かしていきたいと思えます。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



## 祝 表 彰

第68回全国大会（佐賀大会）で次の団体・個人が表彰されました。

おめでとうございます。

### ◇全国高等学校PTA連合会会長表彰 (団体の部)

- 山口県立山口農業高等学校PTA
- 山口県立豊北・下関北高等学校PTA

### (個人の部)

- 八橋 秀治 氏 (山口県公立高等学校PTA連合会前副会長)
- 森岡 智之 氏 (山口県公立高等学校PTA連合会前副会長)

### ◇役員等表彰

- 久芳 善人 氏 (山口県公立高等学校PTA連合会前事務局長)

### ◇優良PTA文部科学大臣表彰

- 山口県立山口高等学校PTA

### ◇PTA活動振興功労者表彰

- 白木 美和 氏 (山口県立西京高等学校PTA元会長)
- 原田 寛 氏 (山口県立山口高等学校PTA前会長)



平成31年度 主要行事予定		
月	日	行 事
5	31(金)	第1回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
6	7(金)	山口県高P連総会 (ホテル かめ福)
7	12(金)	第61回中国・四国地区高P連大会鳥取大会 (鳥取市)
	26(金)	第2回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
8	22(木)~23(金)	第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会 (京都市)
9	6(金)	第3回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
H32.2	13(木)	第4回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)



# 高校生の活躍



## 俳句甲子園 全国優勝までの五年間を振り返って

山口県立徳山高高等学校 文芸部顧問 桑原 範恵

寄稿の機会をいただき感謝申し上げます。

徳山高校は、この度「第二十一回俳句甲子園（全国高等学校選手権大会）」において、三連覇を目指す開成高校を破り初優勝しました。

まずは、ここに至るまでを顧問の立場からお話したいと思います。

「俳句甲子園」は、近代俳句を確立した正岡子規のふるさと・松山市で毎年八月に行われる俳句の大会です。全国から予選を勝ち抜いた五人一組のチームが、俳句の出来栄と鑑賞力を競い合います。

始まりは、六年前の職員室で受け取った一本の電話でした。それは、松山市役所の担当の方からの「俳句甲子園OBG事業へのお誘いでした。ちようどそのころ徳山高校文芸



部では、小説だけではなく俳句にも取り組もうとしていた時でした。この時期組もうとしていた時でした。この時期

「俳句甲子園」に出場経験のある若い俳人の方から俳句の手ほどきを受けた生徒たちが、作句の楽しさを知り「ぜひ俳句甲子園に出場したい」と言い始めました。

地方大会は、最初は二校四チームというところからの出発でした。その後、毎年地方大会が成立するかどうか、それが顧問としての一番の関心事となっていたのですが、徳山高校を中心に、県内の学校を誘って皆で俳句に親しむ研修を何度も実施していき、その成果もあってか、今年も含めて六校十チームの参加となりました。第二会場も成立するようになり、山口県の高

校から全国大会に代表二チームを送り出すことができるようになりました。一緒に文芸活動を支えていただいた県内の顧問の先生方には、改めて感謝申し上げます。

一年目の全国大会では、初参加ながら地元の強豪松山東高校を破り、また、

敗者復活戦にも出場するなど健闘しましたが、予選を突破するには至りませんでした。しかし、決勝戦を観戦し、その白熱した試合に感



動し、世の中にはこんなに面白い大会があるのだと感激して帰路についたの

でした。二年目も予選突破はなりませんでしたが。三年目には、部長が帰りのフェリーで柳井港に着くまで号泣し続けるということがありました。それは、

顧問として、もっとやるべきことがあるのではないかと痛切に思う出来事でもありました。ただ、個人賞では二年目に入選、三年目、四年目には優秀賞をいただき、少しずつ前進はして

おりました。そのうち他県の顧問の先生方も知り合いになり、活動のお誘いもいただいたり、情報を提供していただいたりするうちに、「俳句甲子園」に少しずつなじんでいきました。

これまで、全国大会では多くの学校から様々なことを学ばせていただきました。「こういうのはいいね」「これを

目指そうよ」など、部員には折に触れて話しておりました。常にトップを独走する開成高校は、私たちにとって雲

の存在でした。

私自身は句を作るわけでもなく、普通の国語教師に過ぎません。ただ、様々な創作の場を部員たちには提供し続けました。表彰式があれば一緒に出かけていき、県内の研修会を呼びかけ、合宿を試みたり、練習試合を試みたり。それは、俳句に限らず、小説や詩、短歌など様々なジャンルの幅が広がるように心がけました。

こうした活動に対して、学校の理解に多く支えられ、また、保護者の方々も快く送り出していただきました。

徳山高校の文芸部は、基本的に顧問は活動についての方向性を示し、後は部員が自分たちで工夫して活動するというスタイルを取っています。そうすることによって、物事に対する意欲や自覚、自主性が生まれていつているのではないかと思われま

す。部員は、自分たちの納得のいくまで話し合いをし、補強し合います。今回の大会でも、試合をすればするほど成長していく部員たちの姿が印象的でした。また、同輩だけではなく、先輩後輩のつながりも強く、





卒業生たちも頼もしい存在となります。ます。

とはいうものの、まさか優勝に届くとは思っておりませんでした。私たちはいつもどおり試合を展開し、「優勝」の方がたまたまこちらにやって来たという感じでした。ただ、最後の大将戦では、句が披露された瞬間に勝利は近づいていると感じました。

言葉で何かを表現したいと思う生徒がいる限り、文芸活動は存在し続けると思います。俳句は「座」の文芸だと言われます。「俳句甲子園」は、多くの人々を魅了しながら、これからも続いていくことでしょう。

最後になりましたが、支えていただいたすべての皆様に感謝の念を申し上げます。終わりの言葉とさせていただきます。



## 「涙」から「涙」へ

山口県立防府高等学校 登山部女子顧問 小田 晋

「優勝チームは：」。一瞬の間があり、「山口県、山口県立防府高等学校」のアナウンスが閉会式会場に響いた。それを聞いて全員が涙した。「あたし、部活動では何があっても泣かんことしとーけー。」と常々言っていたキャプテンの涙は止まらなかった。

1年前の平成29年度山口県総体では、本校は、全国大会での優勝も期待されていたほど完成されたチームであったが、熱中症で途中棄権という思いもよらない結果となり、全国大会に出場できなかった。その事実をなかなか受けとめられず、県大会が終わってか



らの数週間はチームに絶望感が漂っていた。悔し涙を流す先輩たちを見て後輩たちは何ができるだろうかと考えた。先輩たちにかける言葉も見つからなかった。

そこからの1年間、後輩たちは、来年度は必ず全国大会に出場して優勝することを誓い合い、みんなで何度も何度も議論し、実に多くのことを試した。熱中症対策に力を入れた。トレーニング方法や、トレイニング方法や、栄養、栄養の摂取方法、100種類近くある装備品等々、それらを原点に立ち戻って再構築した。

その結果、今年度は県総体で優勝し、全国大会に出場することができた。三重県で開催された全国大会は、起床時間の朝4時にすでに30℃に達していたという記録的な猛暑の中で開催された。しかし、熱中症対策を万全にし、十二分にトレーニングを積んできた本校は、大会を楽しむ余裕があった。そして、優勝という快挙を成し遂げるこ

とができた。このたびの全国大会優勝という得たい経験ができたのも、日頃から惜しみないサポートをしてくださった多くの方々のおかげであることを決して忘れることなく、今後も頑張っていきたいと思う。みなさま、本当にありがとうございました。





# 学校紹介

山口県立宇部中央高等学校 P T A 会長 金 沖 真 須 代

## はじめに

山口県立宇部中央高等学校は、緑と花と彫刻のまち、宇部市の街中にあります。広い敷地内には、手入れの行き届いた樹木や四季を彩る花々があふれており、ここで過ごす生徒や教職員の心を和ませてくれます。

この場所に本校が設置されたのは、昭和37年4月ですが、前身の市立宇部夜間中学が創立されたのは、昭和16年に遡ります。以来77年の長きにわたって、伝統を受け継いできました。

## 校訓は「明日へ」

本校の校訓は、「明日へ」です。これは、21世紀を迎えた平成13年に制定されました。短い言葉ですが、心



校訓碑

を打つ響きがあります。正門に建てられている校訓碑には、「明日へ」の文字

の後に、「——明日は希望 明日は今日の努力のよりどころ——と彫られています。生徒には、「植物が光に向かって芽を伸ばすように／人は希望を求めて未来に手を差し出す／どんなに打ちのめされた昨日があっても／明日があればまた立ち上がって歩いていける／さあ歩き出そう 今という時を 力いっぱい／明日という希望に向かって」と

しています。本校の文化祭を「明日葉祭」と呼ぶのも、この校訓が由来です。「明日葉」には「今日摘み取っても明日には葉が出る」という意味があるそうです。本校の中庭には明日葉菜園がありますが、いつも青々とした葉を茂らせています。

逆境にもくじけず、ひたむきに前進する人生を願う、校訓制定当時の熱い思いが胸に迫ってきます。

## 地域の中で生きる

山口県ではコミュニティ・スクールの導入を進めています。本校は平成31年度からの導入を目指して意欲的に地域とのつながりを深めているところです。

実践例を紹介すると枚挙にいとまがありませんが、特に、本校のすぐ近くにある神原苑には、長年にわたって様々な形で世話になっています。

今年の敬老の日に開催された「敬老まつり」

にも、多くの部活動生徒が参加しました。昭和の懐メロを猛練習してきた軽音楽同好会、エネルギーなパフォーマンスで来場者の視線を釘づけにしたダンス同好会、出店のスタッフとして活動したJRC部など、多くの生徒が充実した時間を過ごしました。もちろん、関わりはこの一日だけではありません。美術部の絵画や華道部の生花は、常時展示させていただいています。また、家庭科の「生活と福祉」という講座では、デイサービスセンターで見学や実習をさせていただいています。施設の皆様との交流を深めることが、生徒一人ひとりのキャリアアップの一助となっています。



神原苑での実習

その他、隣接する神原中学校との学習交流会、東新川駅舎清掃、学童保育支援等、様々なボランティア活動にも取り組んでいます。



神原中学校との学習交流会

また、総合的な学習の時間等を利用して、本校卒業生や地域の方々をお招きする取組も頻繁に行っています。

今年の7月の全校集会には同窓会役員の方にお越しいただきました。二部合唱である本校の校歌は他校にはないすばらしい歌であること、自信を持って校歌を歌うことが自己肯定感の向上につながる等のお話の後、実際に歌唱指導もいただきました。

また、9月には、本校の卒業生である山口県立大学国際文化学部教授に、「人生一〇〇年時代をどう生きるか——自分の進路とキャリアを考えよう」という演題で講演をしていただきました。先輩の言葉だけに説得力があり、生徒自身が進路選択について真剣に考える機会を与えてもらいました。



先輩による講演会

このように、社会総がかりで子どもを育てる取組の重要性は、今後ますます高まっていくと思われませんが、よく考えてみれば、子どもたちも私たちも、これまで地域の多くの方々に支えられてきています。本校定時制の生徒は、その6割が何らかの形で仕事に携わっています。学校だけでなく地域の職場で多くのことを学び成長していると

言えます。今後、身近にあるつながりを大切にしなが、地域の中で何ができるかを模索していきます。



# PTA活動の紹介

PTA副会長 青山 剛

本校のPTAは、会長・副会長・監事（会計監査）・顧問の役員と、各学校区及び定時制から選出された評議員によって構成されています。平成29年度からは本校初の女性PTA会長となった金沖会長のもと、生徒や保護者目線できめ細やかな活動となるよう、進路・生徒指導・保健・文化の4つの専門部会を設置し、保護者と教職員が一丸となり、実働するPTAを目指して活動を行っています。

本校PTAならではの取組として、「明日葉祭（文化祭）バザー出店」「大学・専門学校見学会」「JR宇部線東新川駅舎清掃」「PTAだより発刊」等があります。また、「職業人講話」「朝の立ち番指導・公開授業見学」「出張講義」「学校保健委員会」などの学校行事にも積極的に参加しています。今回は、明日葉祭、学校見学会、東新川駅舎清掃での取組を紹介します。

## ◇明日葉祭バザー◇

平成29年度から生徒会の提案により、本校の文化祭である明日葉祭を一般公開に変更しました。校内の安全性低下の問題や教職員負担の増加もありましたが、コミュニケーションの推進を掲げる開地校長先生の「地域と連携した教育活動の展開」と生徒の社会

参加意識の育成が可能となり、教職員と生徒会が協議を進め一般公開の文化祭が開催されることとなりました。

このことから、PTAとしても増加する来場者に対応するため、お弁当・パンなどの食料品の追加販売をしました。また、安全面についても、PTA役員と協力員で校内巡回を実施し、迅速にバックアップ体制を整え開催に至りました。

短期間で準備と販売を可能としたことは、PTAが性別・年齢・職業など、様々な立場の大人が集まった異業種の団体として、学校運営の課題や問題に公民連携の観点で取り組めた小さな成功事例だと考えています。



## ◇東新川駅舎清掃◇

平成26年度から、本校生徒及び教員が、JR西日本・地域住民・行政と一体となって取り組み始めたJR宇部線東新川駅舎の清掃ボランティアに、平成27年度からPTAも協力しています。

実施日は概ね7月末と12月末で、その都度役員及び評議員の中から有志を募っています。

今年度の1回目は、7月28日（土）の午前8時から行いました。猛暑日でしたが、本校の電通学生の生徒が多く利用している駅舎です。駅前ロータリーの除草作業、駅舎の窓拭き、トイレ清掃などを皆で協力して行い、見違えるほどきれいになりました。



## ◇PTA学校見学会◇

保護者を対象としたPTA主催の大学・専門学校見学会は、各学校が開催するオープンキャンパスでは解らない、実際の学生生活や授業内容、学校環境など、保護者として関心が高い内容について、大学や専門学校に進学した本校の卒業生に直接聞くことができます。加えて、保護者同士で進路などの意見交換もできるため、進路で悩んでいらっしやる保護者には、とても有意義な時間となっています。



また、本校校見学会は、各学校のオープンキャンパス開催前に実施することもあつて、保護者目線で様々な情報を比較早く得られることから、子供に合った学校選びを親子でできるようにもなります。

こんな良い事ずくめのPTA主催の学校見学会ですが、参加者が少ないことに悩んでいるところで、今後は、保護者の皆様へのPR方法や内容のブラッシュアップを、検討したいと考えているところです。

高校生を取り巻く社会環境に目を移せば、少子高齢化に伴う労働人口減少によって起こる多くの社会的課題に、成長し大人となる高校生が自ら取り組み、成長し大人となる高校生が自ら取り組み、PTA活動を見ることが出来る高校生にとって、私たち大人の行動や活動が将来の課題解決の一助となればと思っております。

このように、本校のPTA活動については、「子供たちの健全な育成」と「教育環境の向上」を目標に、PTA役員と評議員それぞれが、決して一人で無理をせず、みんな協力する活動を行っています。







# 平成30年度「高校生熟議2018」開催

9月18日(火)萩高校において「高校生熟議2018」(主催・萩高校・萩高校PTA、後援・山口県公立高等学校PTA連合会)が開催されました。「萩市を活性化するために私たちができること」というテーマについて高生者の立場で「私たちに何ができるか」を考えることを通じて、生徒たちのコミュニケーション能力を育み主体的思



考力や社会参画意識を高めるということを目的としています。第2学年生徒全員が18グループに分かれ、代表生徒による全体進行及び各ファシリテータの進行によりテーマについて課題や問題点、そして解決策や対応策について話し合いながら取組の企画書を作成し、その後各グループの発表が行われました。当日は保護者、教育委員会、他校の教職員・PTA役員、市関係者等多くの参観者

があり、グループ発表後は野村興兒至誠館大学学長及び守永孝PTA会長の講評で締めくくられ、たいへん有意義な熟議となりました。なお、萩高校での開催は昨年に続いて3回目です。

また、西京高校においても4年連続の「高校生熟議2018」が11月13日(火)に開催されます。



今後、多くの学校において高校生熟議が開催されますように検討をお願いします。なお、熟議に関する問い合わせにつきましては、高P連事務局までお願いします。





# 平成30年度 災害負傷状況

(平成30年9月末日現在)

種別件数

種別	件数
野 球	10
サッカー・フットサル	11
バ ス ケ	4
柔 道	2
バ レ ー ボ ー ル	2
ラ グ ビ ー	3
テ ニ ス	2
陸 上	2
ハ ン ド ボ ー ル	1
そ の 他	6
計	43

傷病見舞金 額別

見舞金	件数	合計額
¥10,000	7	¥70,000
¥20,000	2	¥40,000
¥30,000	4	¥120,000
¥40,000	2	¥80,000
¥50,000	29	¥1,450,000
計	44	¥1,760,000

	件数	合計額
障害見舞金	1	¥80,000
死亡見舞金	1	¥100,000
香 料	1	¥30,000
計	3	¥210,000

学校管理下状況件数

発生時	件数
授 業	2
部 活	40
登 下 校	2
学 校 行 事	2
そ の 他	0
計	46

部位別件数

部位別	件数
骨折	12
脱臼	2
関節炎・関節症	1
半月板損傷	4
靭帯損傷	3
靭帯断裂	3
半月板断裂	3
蜂窩織炎	1
打撲傷・挫傷	3
捻挫	3
脳挫傷	1
上肢障害	1
関節唇損傷	1
アキレス腱断裂	1
ヘルニア・腰痛症	1
他	12
計	52

(重複しています。)

## 平成30年度 小中高PTA・校長会連絡協議会の開催予定

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は高P連が主管担当し、11月30日(金)に開催します。

協議及び情報交換では「小中高PTA連携の成果と課題について」について特に「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」等の取組及び山口県PTA指導者研修会の在り方について意見交換を図りたいと考えています。

今後も小・中学校PTAおよび高校PTAの縦の連携強化を図ることが一層重要になってくるということ、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくことを確認することができると有意義な機会となるよう取り組んでいきます。

## 県教育長へ要望書提出について

- 地区別連絡協議会(7地区)及び常任委員会から提出された要望事項と昨年度までの要望事項を再検討し、次の内容について「平成31年度要望書」として11月5日(月)に板谷会長から県教育委員会浅原教育長に提出いたしました。
- 子どもたちの健全育成とPTA活動の活性化、促進について
  - 県立高校の再編整備とそれに伴う教育現場への配慮支援について
  - キャリア教育の推進と進学支援・就職支援の推進について
  - 施設・設備の充実と安全な教育環境の整備について
  - 空調設備の設置について
  - トイレの洋式化、バリアフリー化について
  - ICT環境の整備について
  - 部活動の充実活性化について
  - 旅費の支援について
  - 部活動指導員の配置について
  - 運動部活動の在り方に関する方針について
  - いじめの未然防止や相談・支援体制の充実について
  - 生徒通学時の安全確保等について

## 各地区別連絡協議会開催日

7	6	5	4	3	2	1
長北地区 萩高等学校 主管校	下関地区 下関商業高等学校 西市高等学校 主管校	長南地区 宇部中央高等学校 厚狭高等学校 主管校	山防地区 防府商工高等学校 主管校	周南地区 下松高等学校 新南陽高等学校 主管校	柳井地区 熊毛南高等学校 主管校	岩国地区 岩国総合高等学校 主管校

## 全高P連賠償責任保障制度

- ☆ 掛け金 生徒一人当たり 400円

## 見舞金給付事業

- ☆ 傷病見舞金
  - 補償期間 4月1日～翌3月31日
  - 見舞金負担金 全日制 300円
  - 定時制 150円
  - 被保険者
    - \*生徒(日本スポーツ振興センターの決定に基づき給付)
      - 見舞金 (最高5万円)
      - 香料 3万円
    - \*保護者(PTA活動中のみ)
      - 入院見舞金 最高3万円
      - 香料 3万円
- ☆ 障害見舞金 10万円
- ☆ 死亡見舞金 10万円



保険金請求、  
忘れていませんか？

今からでも  
ご請求できます！！

2018年3月現在の内容です。

任意加入

# 山口県公立高等学校PTA連合会 高校生総合保障制度

こども総合保険  
自転車総合保険

大切なお子さまのさまざまな危険にそなえます。

- 学校内外、土・日全てを含む1年365日24時間補償。(学校管理下動産補償を除く) 個人の安心のための総合保障制度です。
- 自転車事故でのケガの補償が、すべてのプランで充実しています。またケガの治療費を実費で補償できるプランが好評です。
- 簡単支払特急便でスピーディーなお支払い。ケガで保険金5万円以下なら電話一本で、請求できます。
- 1回の加入手続きで高等学校卒業まで自動更新されます。



個人賠償責任補償	育英費用補償	ケガの医療費実費補償	ケガの補償	学校管理下動産補償	被害事故補償	病気の補償
お子さまやそのご家族が、誤って他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。	扶養者の方がケガをし、事故の日から180日以内に死亡または所定の重度後遺障害を負った場合に補償します。	お子さまがケガをして医師の治療を受けた場合に実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入院時の交通費などを補償します。(細菌性食中毒補償を含む。)	ケガで入院したり、通院した場合の日額補償、所定の手術を受けた場合の手術補償、後遺障害や万一の死亡補償まで幅広く補償します。(熱中症補償、細菌性食中毒補償を含む。)	学校の授業中、登下校中に、お子さま本人が携行している身の回り品が盗難にあったり、破損した場合に補償します。	お子さまが、ひき逃げ事故や誘拐等の犯罪行為により、死亡または所定の重度の後遺障害が生じた場合に補償します。	・病気死亡見舞金 ・疾病入院医療保険金 ・疾病入院療養一時金 ・疾病手術医療保険金 お子さまが補償開始後に発病した病気で1日を超えて入院した場合などに補償します。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。※詳しくはパンフレットをご覧ください。  
※上記、補償内容については、主な場合を記載しています。具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へお問い合わせください。

### お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など

土・日・祝日・年末年始を除く(月～金 午前9:30～午後5:30)

☎0120-714-855

☎0120-504-551

この広告は制度商品の概要をご案内したものです。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

### 加入者サービス

●ハロー健康相談24

電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスをします。

●セカンドオピニオンアレンジサービス

お子さまの病状・症状の相談をお受けします。

●メンタルケアカウンセリングサービス

心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。

※上記サービスは、補償期間(保険期間)中、引受保険会社がティーマック株式会社に委託してご提供します。今後、予告なく変更・中止される場合があります。

山口県公立高等学校PTA連合会  
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内  
TEL 083 (923) 4761 FAX 083 (923) 4785

制度引受保険会社  
AIG損害保険株式会社

中国・四国地域事業本部 広島営業支店

〒730-0011 広島市中区基町12-6

富士火災広島ビル TEL 082 (222) 4351

受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

(取扱代理店) NOSCOインシュアランスサービス(株)

TEL 082 (228) 1222

受付時間:午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 S-180332 有効期限 2019-03]

各校PTAの会員である

### 先生方のための補償制度

## 山口県公立高等学校PTA連合会 教員総合補償制度

詳しくは下記取扱代理店・扱者  
フリーダイヤル 0120-084-025

「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

主な補償内容 (2018年3月現在の内容です。)

- ① 先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償責任を補償(施設所有(管理)者賠償責任保険)
- ② 先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償金などの補償(普通傷害保険個人賠償責任補償特約セット)
- ③ 先生方のケガの24時間補償(普通傷害保険)

制度引受  
保険会社 AIG損害保険株式会社 中国・四国地域事業本部(広島営業支店)  
〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル TEL 082 (222) 4351  
受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

取扱代理店・扱者 NOSCOインシュアランスサービス(株)

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 TEL 0120-084-025

受付時間:午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 D-003117 (2019-03)]